

議会報告会実施報告書（議長報告用）

開催日時	平成30年5月7日（月） 19:00 ～ 19:45
開催場所	飯野学習センター（2階講義室）
出席議員及び役割	班 長：小松 良行 副班長：梅津 一匡 司 会：梅津 一匡 報告者：（総 務）小野 京子、（文教福祉）尾形 武 （経済民生）佐々木 優、（建設水道）白川 敏明 （東京2020オリンピック・パラリンピック）高木 克尚 記録者：斎藤 正臣、山岸 清
参加人数	9人
議会報告会の報告 に対する質疑	報告に対する質疑については、意見交換会にて伺っているため、 「意見交換会の概要」に併せて記載しております。

平成30年 5月21日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。

議会報告会 1班 班長 小松 良行

意見交換会実施報告書（議長報告用）

開催日時	平成３０年５月７日（月） １９：４５ ～ ２０：３０
開催場所	飯野学習センター（２階講義室）
出席議員及び役割	座 長：小松 良行 司 会：梅津 一匡 班 員：小野 京子、尾形 武、佐々木 優、白川 敏明 斎藤 正臣、高木 克尚、山岸 清 記録者：斎藤 正臣、山岸 清
参加人数	９人
意見交換会の概要	Ｑ１：少子高齢社会となる前に、少子高齢化の段階で本市としての具体的な取り組みは何かあるのか。 Ａ１：中核市に移行し、本市独自の政策に取り組むことができる。子どもたちが県外就学・卒業後に帰ってこないことがあるが、本市自体が魅力的でなくてはならない。 独自の工業団地誘致施策など、雇用の確保等による定住施策や、連携中枢都市として近隣自治体など含め魅力的なまちづくりに向けて取り組んでいる。 また、待機児童解消も取り組むべき課題であり、平成３１年度には待機児童をゼロとするため、今年度中に３施設が開園予定であり、解消に向け取り組んでいる。 高齢化社会をむかえるにあたっては、いつまでも暮らし続けられるようオレンジプランの策定、認知症サポーター育成など元気に暮らせるよう取り組んでいる。 Ｑ２：飯野町は福島市合併１０周年となるが人口減少が著しい。 飯野小は１７～８人の入学者がいるが、他の大久保小や青木小では複式学級などで運営している。競争から学ぶこともある。 飯野小に統合すべきではないか。 Ａ２：適正規模について「あり方検討会」の諮問が出た。複式学級については１０年間で合併したいとの内容である。 直近では大波小、茂庭中の廃校があった。地域や保護者の皆様の理解が大前提であり、地元の皆さんの協議が必要である。

	Q 3 : 地区に仮設住宅がある。使用期間が延長されてきているが、いつまで使用するのか。 A 3 : 災害公営住宅建設なども進めているが、被災された方々の気持ちに寄り添う必要がある。地域の皆さんにも引き続きご協力をお願いしたい。 Q 4 : 仮設住宅の場所が、グランドゴルフを行うなどをしていた場所であり、なるべく早めに元の状態に戻してほしい。 A 4 : ご意見として伺う。 Q 5 : 新大原総合病院は、街中にあり道幅などが狭く利便性が悪く、周辺部に移転すべきではなかったのか。 A 5 : 駅前通りの改修でアーケードの撤去や道幅の拡幅、バリアフリー化などを進めているところであり、今後、街なかの回遊性や施設との連携を図る取り組みを行っていきたい。 また、周辺部との連携に向け、バスやタクシーの実証実験なども行っており、それぞれの地区の住民が住みやすい地域づくりを求めていく。 Q 6 : 写真を撮る時、電線が邪魔である。 A 6 : 景観という点からも、本市は景観条例を策定しており、景観や美しい自然を守るため、議会としても取り組んでいく。 Q 7 : 小学校などの建設で、水圧が下がってしまった。消火栓も使用できるのか心配である。 A 7 : 水道局に適正な水圧が確保されているのか等、状況把握がなされているのかお伝えする。 Q 8 : 保健所を設置したが、運営費は大丈夫なのか。 A 8 : 建設費は市単独事業で国からの措置はないが、人件費等は交付金に含まれ、運営費は内容により国庫の補助対象となる。 Q 9 : 原発建設の段階で反対すれば良かったことを、しっかりと認識すべきである。 A 9 : ご意見として伺う。
--	--

平成30年 5月21日

福島市議会議長 様

上記のとおり報告します。